

経営比較分析表（令和6年度決算）

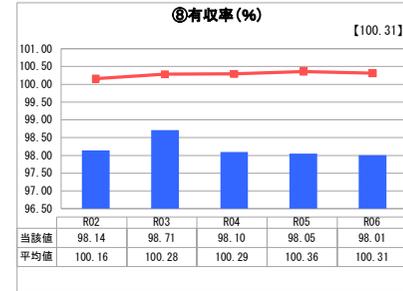
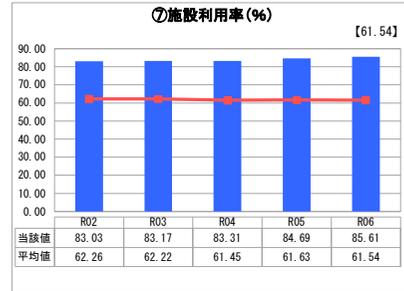
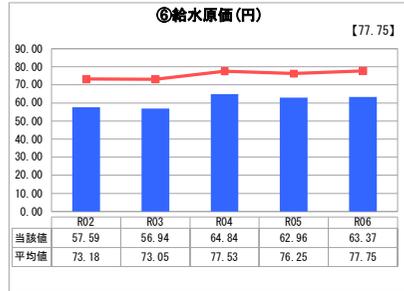
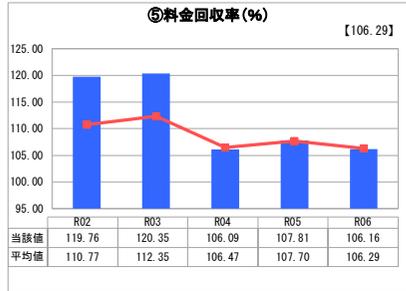
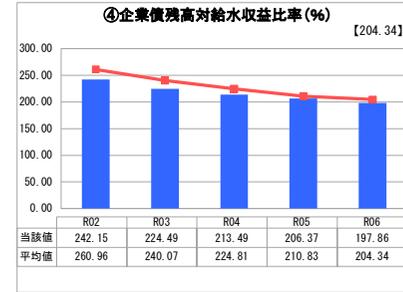
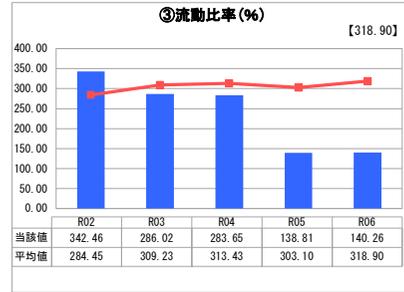
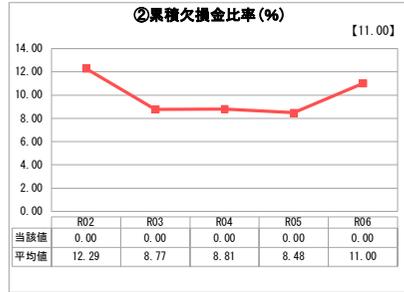
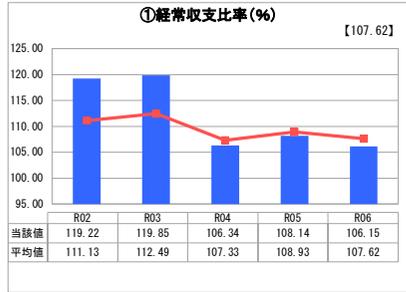
千葉県 北千葉広域水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	80.27	91.44	0	

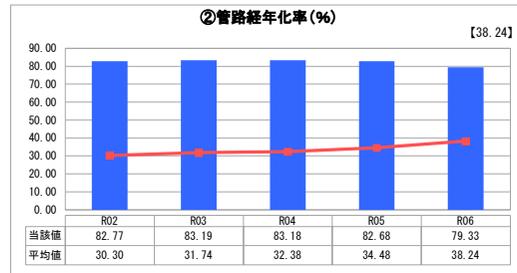
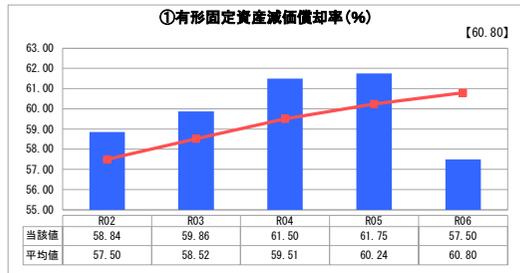
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
-	-	-
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
4,386,549	920.64	4,764.67

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を上回っており、健全経営を維持しているものの、類似団体平均値を下回っている。これは、諸物価の高騰や前年度に新たに取得した資産の減価償却費等の増が影響している。
 ②累積欠損金比率は発生していないため、健全経営を堅持している。
 ③流動比率は、100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力を維持している。
 ④企業債残高対給水収益比率は、速減傾向である。これは発行済企業債の償還進捗に伴い、企業債残高が順次減少していることによる。
 ⑤料金回収率は、事業に必要な費用を給水収益で賄えているとされる100%を上回っている。
 ⑥給水原価は、類似団体と比べ低廉となっている。
 ⑦施設利用率は、類似団体平均値を上回っており、施設の効率的な運用が行えている。
 ⑧有収率は、類似団体平均値を下回っているものの、100%に近い数値となっており、引き続き高い水準を維持している。

2. 老朽化の状況について

企業団の施設整備については、平成12年度に創設事業が完了し、以降、更新計画に基づき、経年化設備の計画的な更新に努めている。
 R6年度は、第二導水管布設（導水管路の二条化）が完了した。
 ①有形固定資産減価償却率は、新たに取得した資産があったため、数値が下がり、類似団体平均値を若干下回っているが、引き続きアセットマネジメントを踏まえた計画的な更新や長寿命化を念頭に置いた経年化施設の適切な保守管理に取り組むこととしている。
 ②管路経年化率は類似団体平均値を大きく上回っている。今後は、老朽化対策とバックアップ機能強化のため、長期にわたって計画的に第二送水管の整備を実施していく。
 ③管路更新率の令和5、6年度数値は誤謬による。(R5:0.00→0.50、R6:4.05→0.00)

全体総括

企業団の経営状況については、各指標の分析から、健全かつ効率的な状態にあるといえるが、近年の物価や労務単価の上昇等に加え、給水量が増えていることによる費用増が利益を圧縮している。
 管路等の基幹構造物の多くは老朽化が進行し、管路経年化率についても、高止まりしている状況にあり、管路等の更新に対応するための資金や人材の確保が必要となっている。
 引き続き施設の長寿命化を図りつつ、計画的な施設の更新を実施すべく、より一層の経営の効率化に努めることとしている。